

中国産業概観 【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

2026年4月

みずほ銀行(中国)有限公司

中国アドバイザリー部

MIZUHO

瑞穂銀行

中国自動車業界レポート(3月)

1 自動車販売台数

1.1 自動車販売台数2

1.2 乗用車3-4

1.3 日系5

1.4 NEV6-9

1.5 輸出10

2 在庫 11

3 新発売のモデル 12

4 業界動向 13

5 中古車 14

6 上海NEV市場 15

7 2025年リコール 16

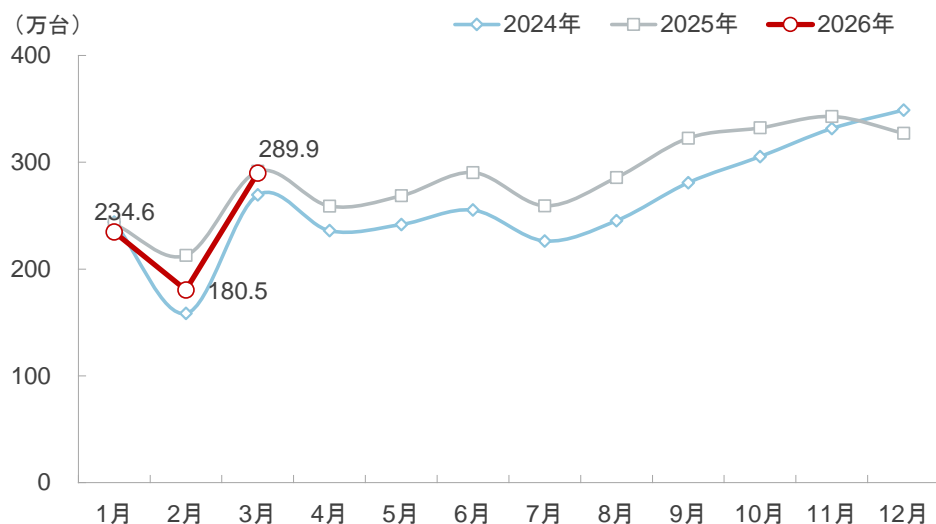
8 水素エネルギーの総合利用への財政支援 17

1.1 自動車販売台数

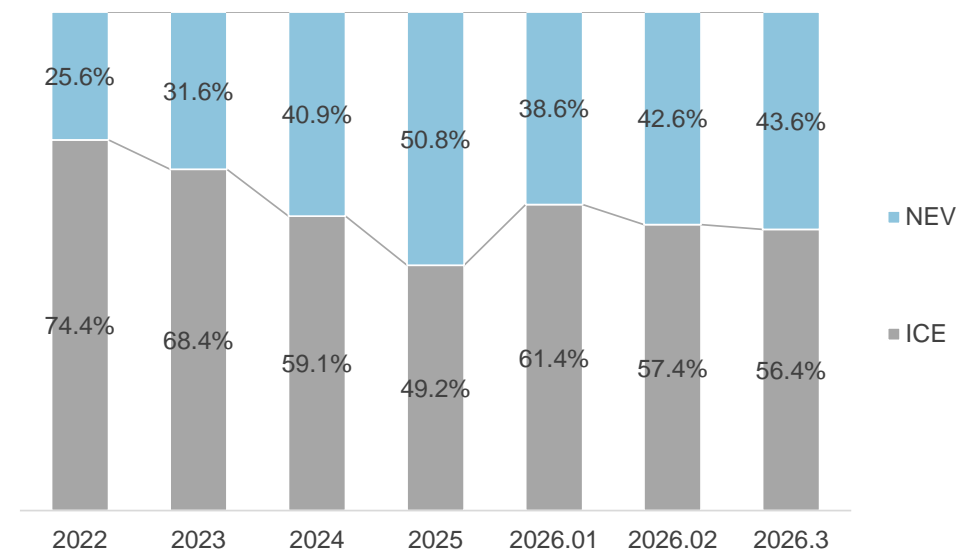
【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

- **自動車生産販売台数**: 2026年3月、中国自動車生産台数は前年同月比3%減、前月比74.4%増の291.7万台、販売台数は前年同月比0.6%減、前月比60.6%増の289.9万台となった。1-3月の累計販売台数は前年同期比5.6%減の704.8万台。4月は北京モーターショーにおいて新製品や新技術が集中的に発表されるとみられ、中国の自動車市場の熱気も徐々に高まっていく見通し
 - 乗用車: 3月の販売台数は前年同月比2.3%減、前月比57.1%増の241.2万台。1-3月累計販売台数は前年同期比7.6%減の593.4万台
 - 商用車: 3月の販売台数は前年同月比8.9%増、前月比80.7%増の48.7万台。1-3月累計販売台数は前年同期比6%増の111.4万台
- **NEV比率**: 2026年3月の国内自動車販売台数におけるNEV比率は前月比1pt上昇の43.6%、2025年比では7.2pt下回っている。市場需要の回復、完成車メーカーの技術開発や市場戦略の調整により、下半期には再び強い成長となることが期待されている

中国自動車月次販売台数(2024-2026年)



中国国内自動車販売台数動力別構成比(2022-2026年)



出所: 中国汽車工業協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場①

【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

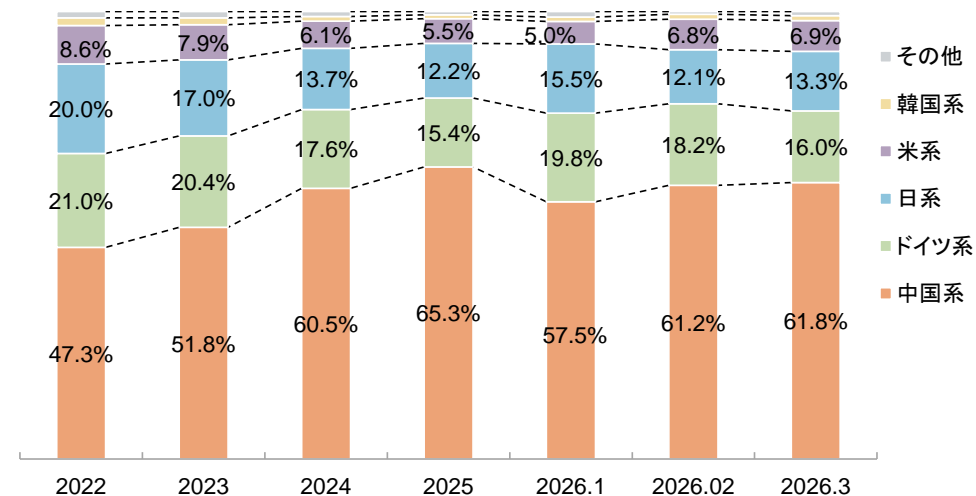
■ 国内小売市場:

- 2026年3月の乗用車企業国内小売台数は前年同月比15.0%減の164.8万台、うちTop10社は同21.9%減の95.91万台、CR10は58.2%。うち大きく下げたのは上汽GM五菱で同35.3%減。Top10社では長安汽車と広汽トヨタのみが微増となった
- 2026年1-3月の乗用車小売台数は前年同期比17.4%減の422.6万台、うち、Top10社の合計は同24%減の247.15万台。うちBYDは同45.8%減、奇瑞は同39.7%減と大きく下げている。主な要因は国内市場の需要が弱まっていることで、販売台数のうち輸出が50%近くを占めるように

■ 資本別:

- 2026年3月、国内小売台数のうち中資系のシェアは前月比微増の61.8%。合併系ではドイツ系が縮小、日系はやや拡大

資本別小売構成比シェア



乗用車企業国内小売台数Top10

No.	メーカー	2025.3 (万台)	2026.3 (万台)		
			YoY	シェア	
1	BYD	29.02	19.41	-33.1%	11.8%
2	吉利汽車	19.51	17.13	-12.2%	10.4%
3	長安汽車	11.09	11.16	0.6%	6.8%
4	一汽VW	12.95	10.74	-17.1%	6.5%
5	奇瑞汽車	11.94	7.04	-41.0%	4.3%
6	上汽VW	9.07	7.00	-22.8%	4.3%
7	広汽トヨタ	6.61	6.61	0.1%	4.0%
8	一汽トヨタ	7.09	5.99	-15.5%	3.6%
9	Tesla中国	7.41	5.61	-24.3%	3.4%
10	上汽GM五菱	8.07	5.22	-35.3%	3.2%
Top10 合計		122.76	95.91	-21.9%	58.2%

No.	メーカー	2025.1-3 (万台)	2026.1-3 (万台)		
			YoY	シェア	
1	吉利汽車	61.50	52.62	-14.4%	12.5%
2	BYD	69.61	37.70	-45.8%	8.9%
3	一汽VW	36.48	31.82	-12.8%	7.5%
4	長安汽車	31.23	26.12	-16.3%	6.2%
5	上汽VW	25.70	21.64	-15.8%	5.1%
6	奇瑞汽車	33.89	20.45	-39.7%	4.8%
7	広汽トヨタ	17.14	17.15	0.1%	4.1%
8	一汽トヨタ	17.22	15.49	-10.0%	3.7%
9	華晨BMW	13.19	12.29	-6.8%	2.9%
10	上汽GM五菱	19.08	11.87	-37.8%	2.8%
Top10 合計		325.04	247.15	-24.0%	58.5%

出所: 中国汽車流通協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

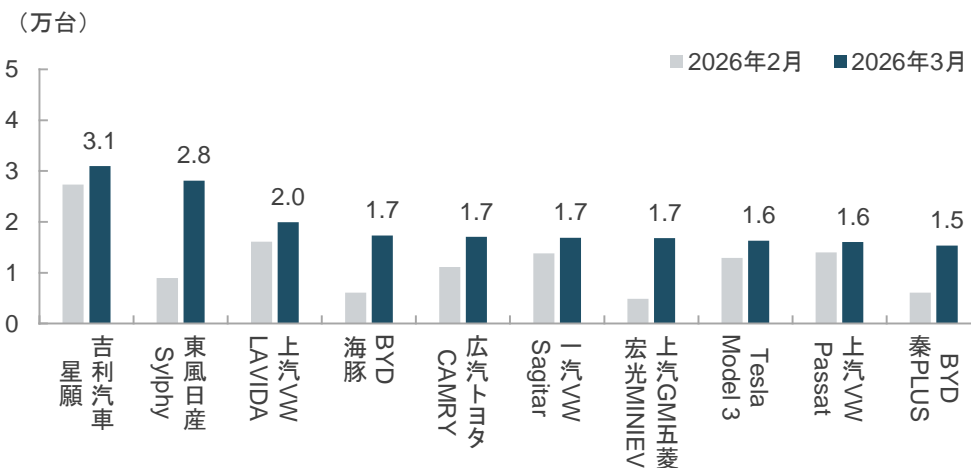
1.2 乗用車市場②

【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

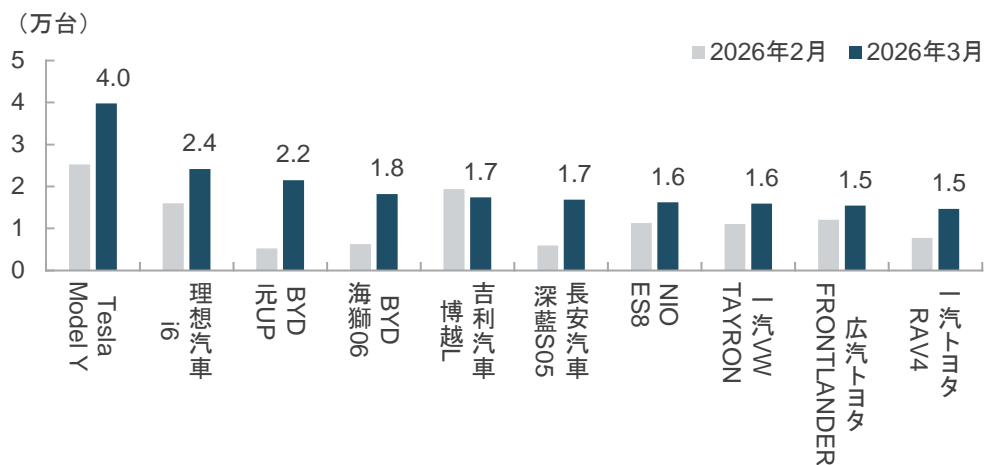
■ 乗用車モデル別Top10:

- **セダン**:3月、セダン小売台数は前年同月比24.8%減、前月比60.2%増の67.6万台。Top10のうちNEVは5モデル、ICEは日産Shlphy、VW LAVIDA、Sagitar、トヨタ CAMRYと、ドイツ系と日系が強さを見せている。セダン総販売台数のCR10は28.8%
- **SUV**:3月、SUV小売台数は前年同月比6%減、前月比59.8%増の89.3万台。Model Yが引き続きトップ、理想 i6が第2位に浮上。Top10のうちNEVは6モデル、SUV総販売台数のCR10は22.4%
- **MPV**:3月、MPV小売台数は前年同月比11.6%減、前月比48.7%増の7.9万台。トヨタSIENNAがトップ、第2位は長城高山。MPV総販売台数CR10は60.5%

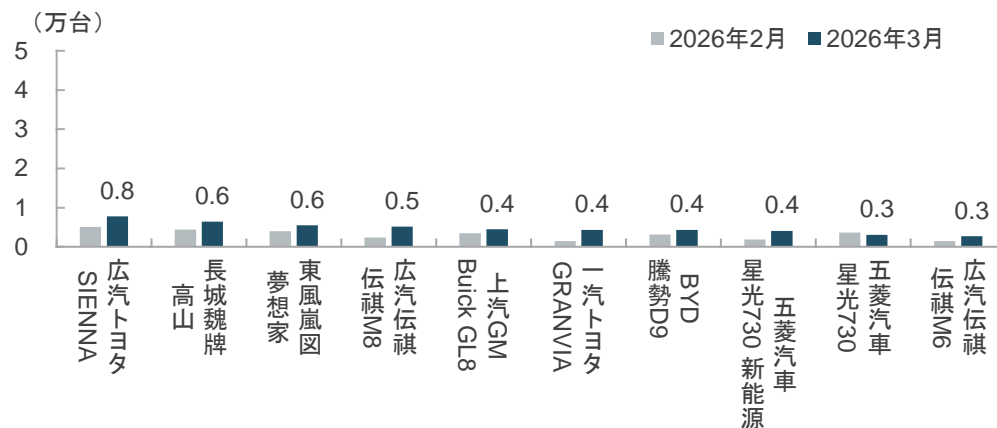
セダン小売台数Top10(2026年3月)



SUV小売台数Top10(2026年3月)



MPV小売台数Top10(2026年3月)

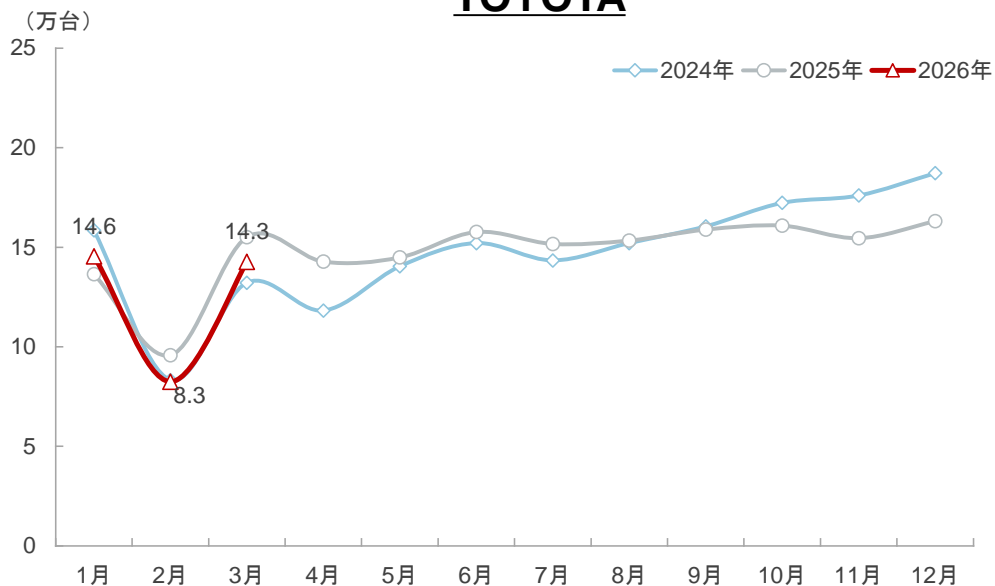


出所: 中国汽車流通協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

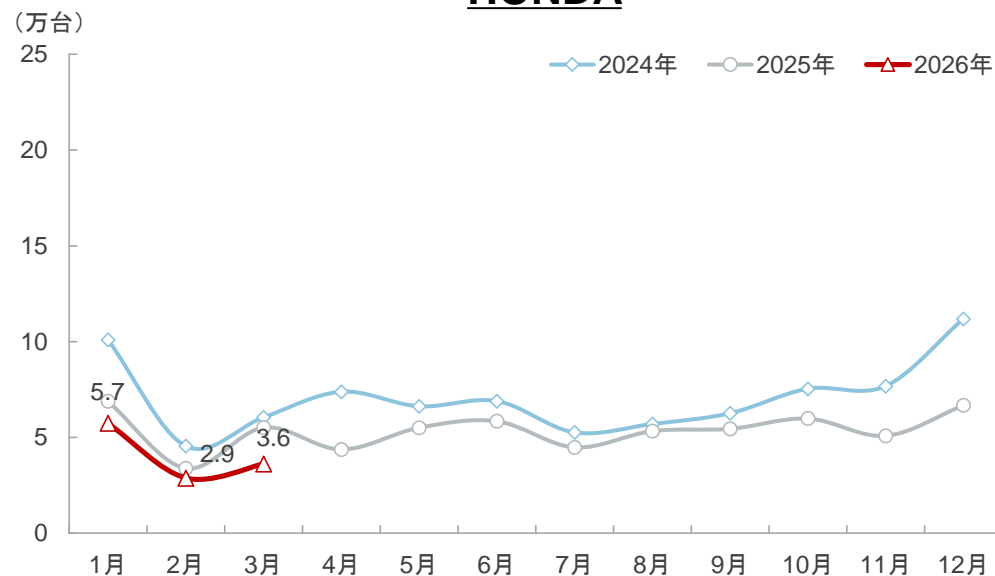
1.3 日系

- 日系販売状況: 2026年3月、トヨタ、ホンダともに前月比プラス、前年同月比ではマイナスとなった
 - **トヨタ中国**: 3月の販売台数は前年同月比8%減の14.27万台。うち広汽トヨタは微増の5.51万台。1-3月のトヨタ中国累計販売台数は前年同期比4%減の37.09万台。うちBEVであるSUV bZ3Xは好調で、EV販売台数は前年同期比88%増の1.13万台に達している。また、LEXUS上海金山区工場は2026年11月竣工、2027年稼働予定で、5モデル以上のBEVを打ち出す計画
 - **ホンダ中国**: 3月の販売台数は前年同月比34.3%減の3.62万台。うち、広汽ホンダの販売台数は前年同月比45.1%減の2.63万台。1-3月のホンダ中国累計販売台数は前年同期比22.4%減の12.25万台

TOYOTA



HONDA



出所: 各社ウェブサイトよりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

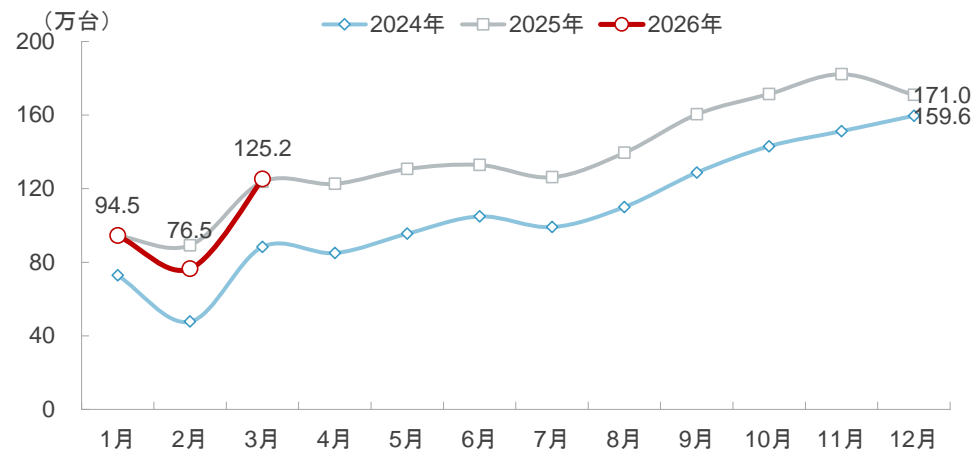
※日産中国については2026年3月20日時点で販売台数は発表されていない

1.4 NEV①

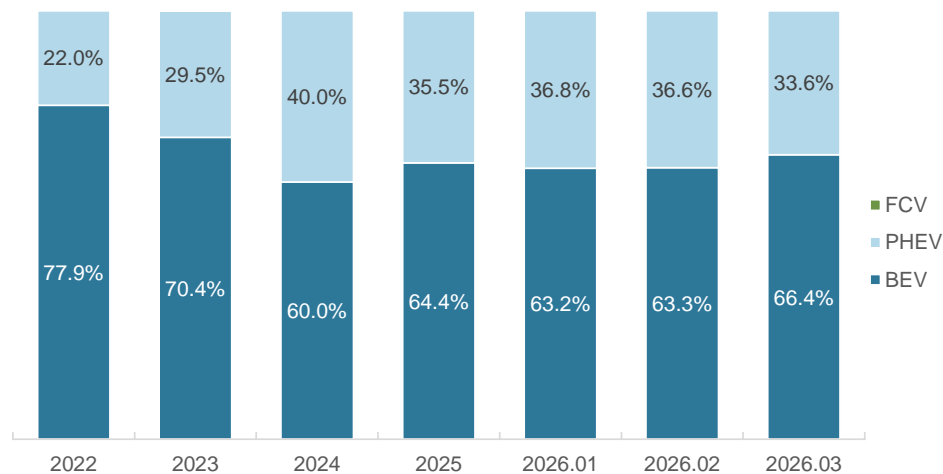
【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

- **NEV販売台数**: 2026年3月のNEV生産台数は前年同月比3.6%減の123.1万台、販売台数は前年同月比1.2%増の125.1万台。
 - 1-3月、NEV累計販売台数は前年同期比3.6%減の296万台
- **販売台数構成比**: 3月の販売台数ではEVは83.1万台でNEV販売台数の56.4%、PHEVは42.1万台で同33.6%。FCVの販売台数は約100台
- **NEV比率**: 3月の自動車販売台数におけるNEV比率は前年同月比0.8pt上昇、前月比0.8pt上昇の43.2%

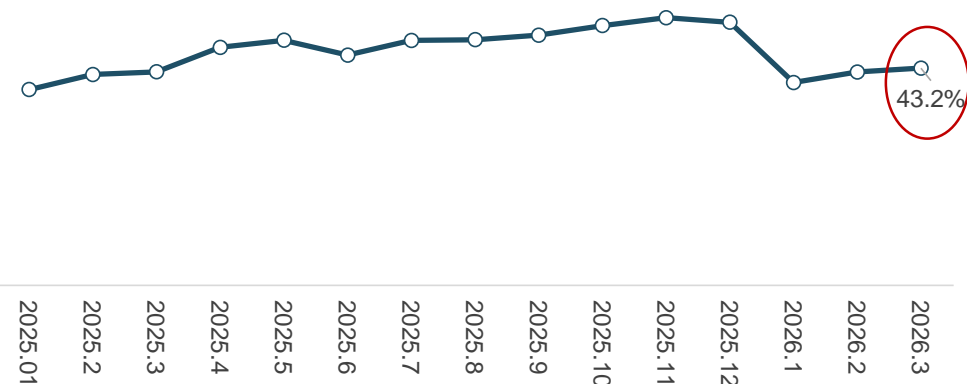
NEV月次販売台数(2024-2026)



NEV販売台数動力別構成比(2022-2026年)



新車販売台数NEV比率(2025-2026)



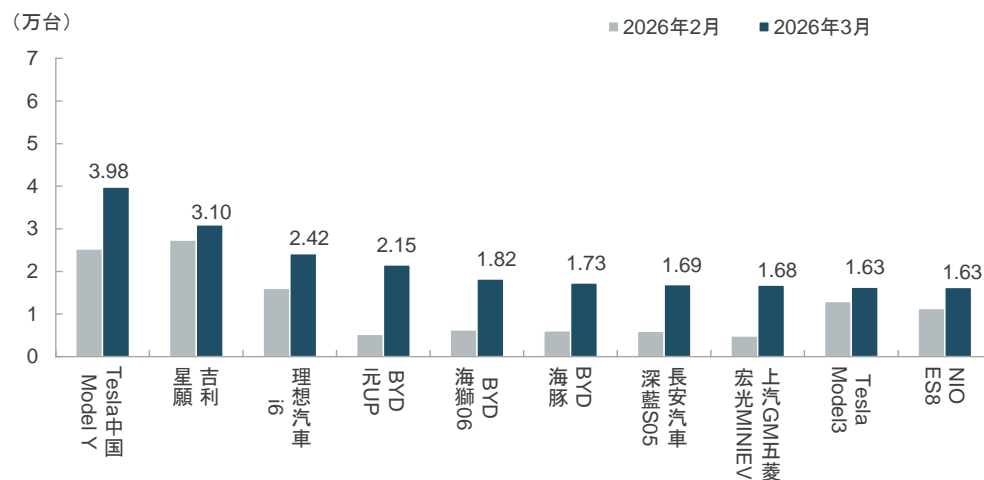
出所: 中国自動車工業協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.4 NEV②

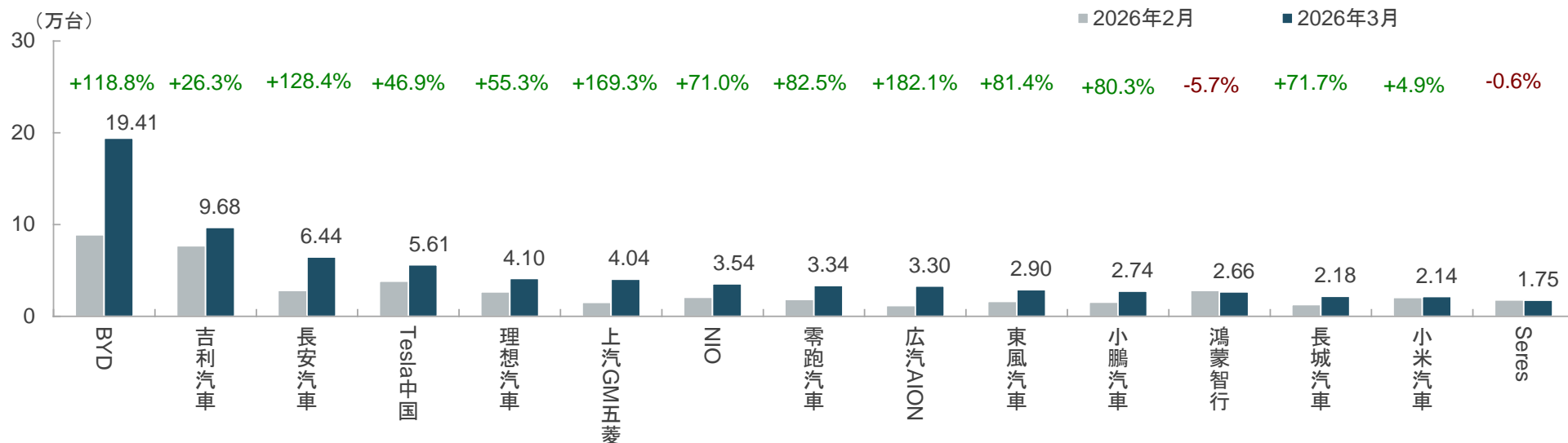
【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

- **人気モデル**: 2026年3月、NEV乗用車国内販売台数Top10モデルでは、Tesla Model Yが吉利星願を抜き再度トップに。BYDは3モデルがランクイン、ともに順位を上げている。Top10モデルの販売台数は計21.82万台
- **メーカー国内小売台数**: 3月、NEV乗用車メーカー15社の国内小売台数は計73.83万台(鴻蒙智行とSeresは重複あり)。3月は鴻蒙智行とSeres以外は前月比増、うち伸び幅が大きいのは広汽AION(+182.1%)、上汽GM五菱(+169.3%)、長安汽車(+128.4%)等

NEV乗用車販売台数Top10(2026年3月)



NEV乗用車企業国内小売台数(2026年3月)



出所: 中国汽車流通協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

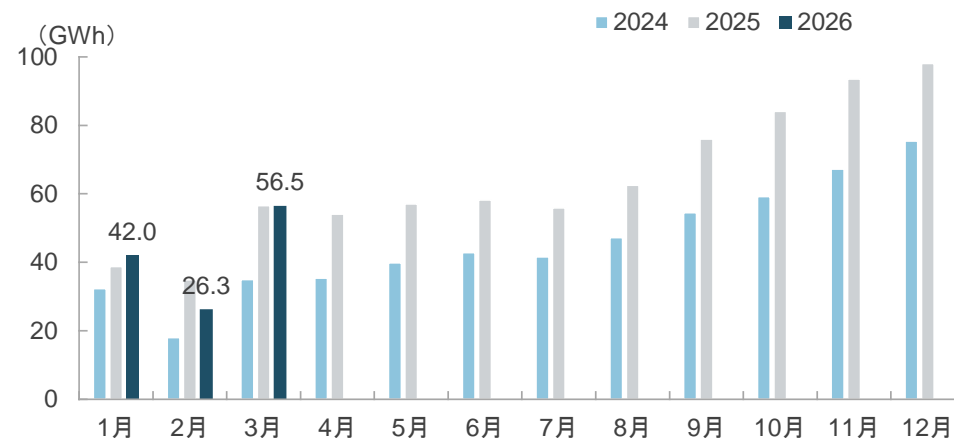
1.4 NEV③

【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

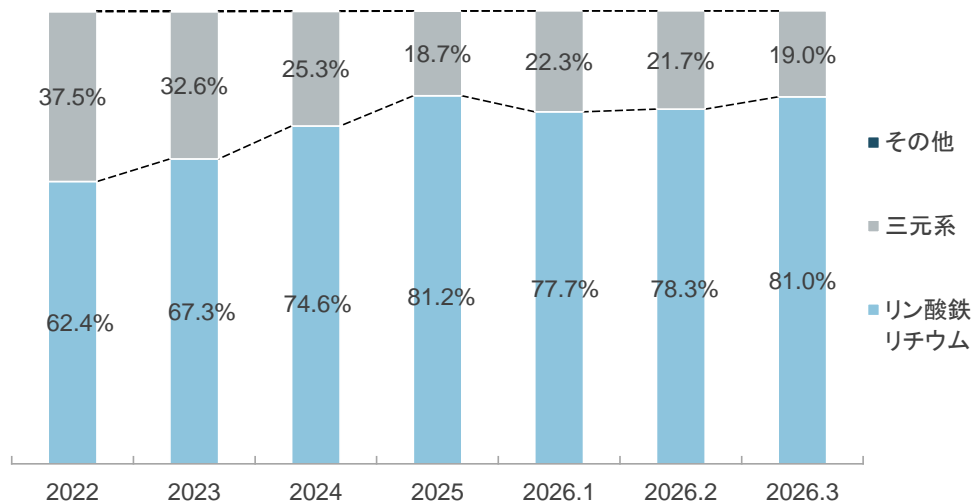
■ **動力電池搭載量**: 2026年3月中国国内動力電池搭載量は前年同月比0.1%減、前月比114.9%増の56.5GWh。1-3月の累計搭載量は前年同期比4.1%減の124.9GWh

- **製品別構成比**: 3月、リン酸鉄リチウムイオン電池の搭載量は前年同月比1.7%減の45.8GWh、総搭載量の81%。三元系電池は同7.3%増の10.7GWh、総搭載量19%
- **メーカーシェア**: 3月は31社の動力電池メーカー製電池が搭載された。うちTop10社の搭載量は計52.9GWh、CR10は93.6%。CATLのシェアは3.6pt低下、BYDは4.2pt上昇。他、中創新航、国軒高科、億緯鋰能は前月比小幅上昇。

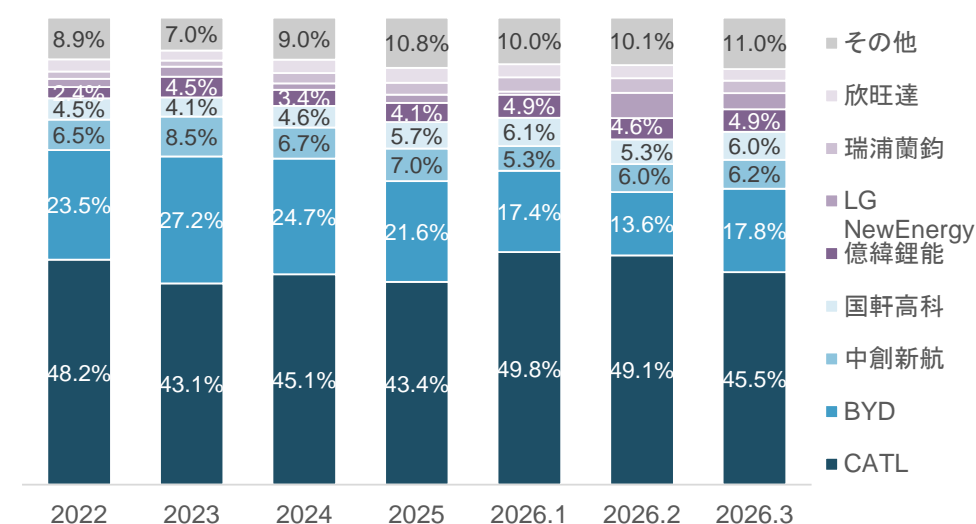
動力電池月次搭載量(2024-2026年)



動力電池月度搭載量製品別構成比(2022-2026年)



動力電池搭載量メーカー別シェア(2022-2026年)



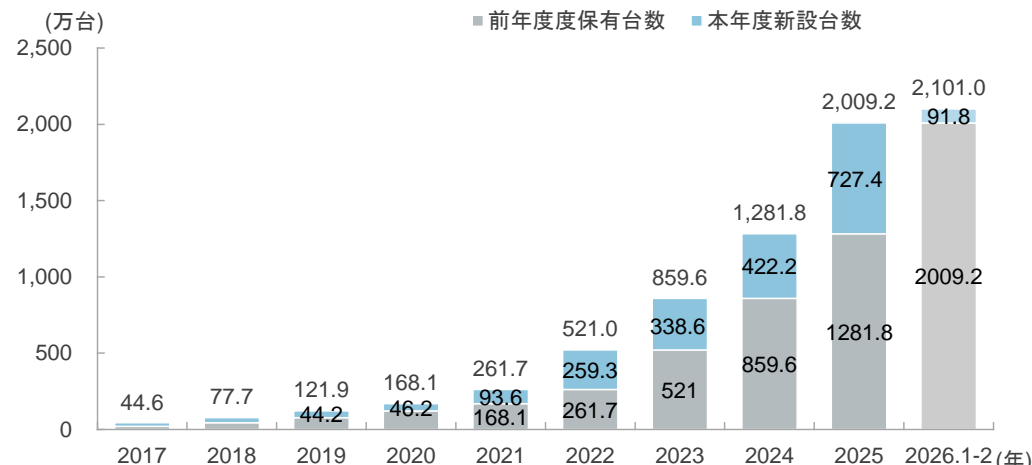
出所: 中国自動車動力電池産業創新聯盟よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.4 NEV④

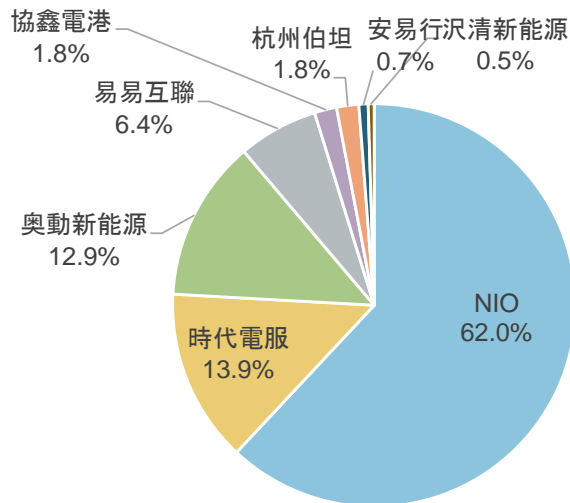
【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

- **充電網**: 2026年2月末時点、中国電動自動車充電設備(充電口)総数は前年同月比47.8%増の2,101万台。2026年1-2月の新設台数は前年同期比44.8%増の91.8万台
 - 2026年2月時点、公共充電設備(充電口)は前年同月比28.8%増の483.4万台
 - 個人用充電設備(充電口)は同54.6%増の1,617.6万台、設備総量の77%
- **電池交換ステーション運営事業者**: 2026年2月末時点、中国電池交換ステーション数は6,069カ所。うちNIOの電池交換ステーション数が3,761カ所、総数の62%を占め最大。電池交換モデルは実証段階から大規模な商用運用へと全面的な飛躍を遂げたと言える

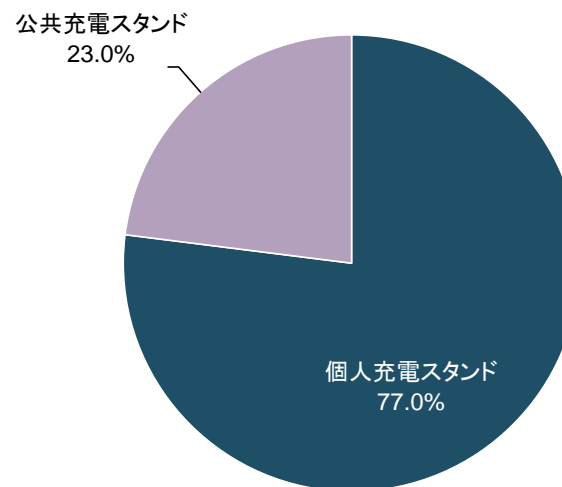
中国充電設備(充電口)保有台数(2017-2026年)



電池交換ステーション運営事業者別シェア(2026年2月)



充電設備タイプ別構成比(2026年2月)



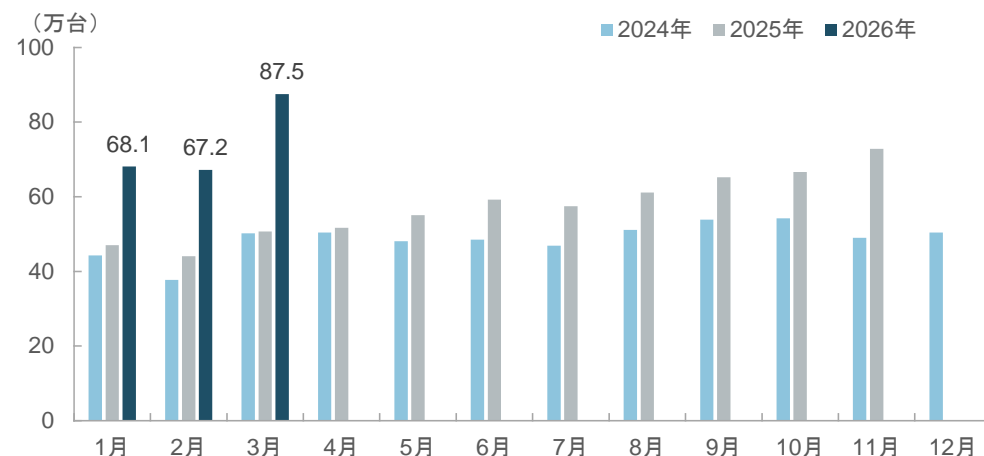
出所: 中国充電聯盟よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 輸出

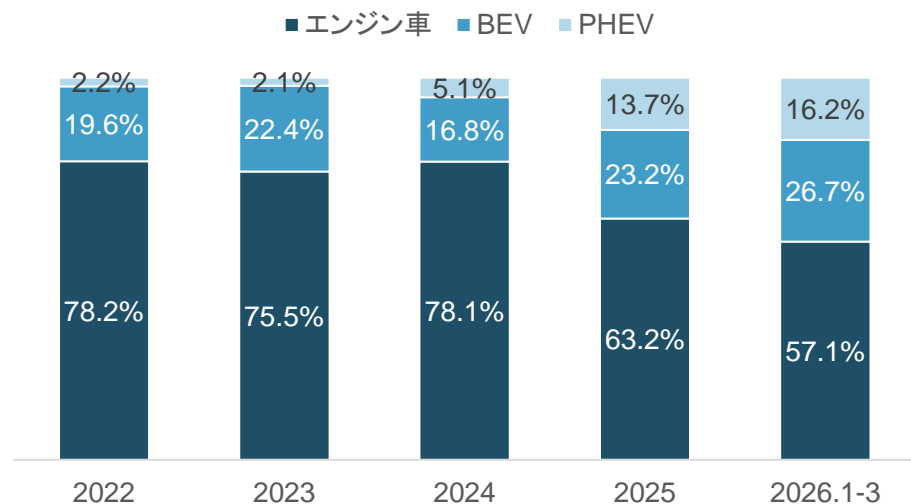
【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

- **輸出台数**: 2026年3月、中国自動車輸出台数は前年同月比72.7%増、前月比30.2%増の87.5万台。イラン情勢を受け、中東向けについては短期的に下押し圧力に瀕している。1-3月累計は前年同期比56.7%増の222.6万台。
 - **ICE**: 3月の輸出台数は前年同月比44.6%増の50.5万台。1-3月累計は前年同期比29.9%増の127.1万台、総輸出台数の57.1%
 - **NEV**: 3月の輸出台数は前年同月比2.3倍の37.1万台。1-3月累計は前年同期比2.2倍増の95.4万台。うちEVが同2.1倍の59.4万台で総輸出額の26.7%。PHEVは同2.4倍増の36万台
- **輸出Top10社**: 1-3月の完成車輸出台数Top10社のうち、奇瑞汽車が39.1万台で第1位。Tesla中国は前年同期比2.6倍の10.1万台と大きく伸ばしている

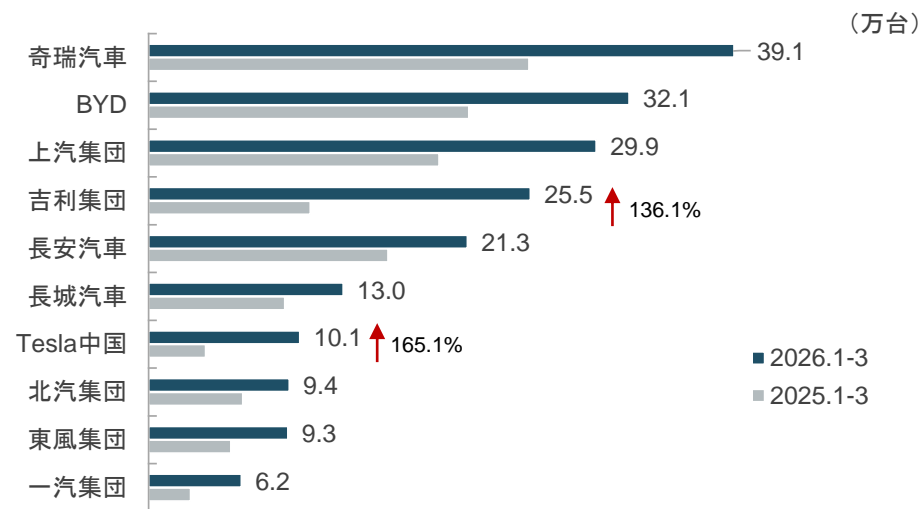
中国自動車月次輸出台数(2024-2026年)



中国自動車動力別構成比(2022-2026年)



完成車輸出Top10社(2026年1-3月)



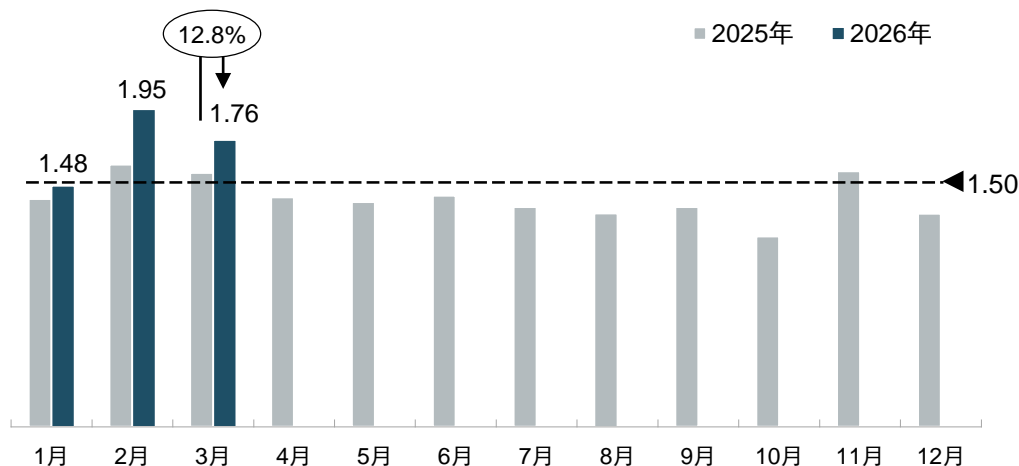
出所: 中国汽車工業協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

2 在庫

【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

- **在庫**: 2026年3月、自動車ディーラー総合在庫係数は前年同月比12.8%上昇、前月比9.7%低下の1.76と依然警戒ラインを上回っており、ディーラーには強い在庫圧力がかかっている状態が続く。3月の自動車市場は「前半が低調、後半は好調」の動きとなり、前半は春節後の回復期間、後半は全国20省市以上で春の販促イベントが開催、また新たな買い替え補助金制度も効果を見せ、メーカーやディーラーによる割引や利息補助なども強化されたことで、需要が徐々に改善された。中国汽流通協会乗聯分会によると、3月末時点での自動車ディーラー在庫総量は約290万台
- **ブランド別**: 3月、高級&輸入ブランドの在庫係数は前月比11%上昇の1.91、合併系は同28.5%上昇の2.21、中資系は同28.4%低下の1.51
- **在庫深度**: 3月、主流ブランドのうち在庫係数が2ヵ月を超えたのは16ブランド、うち、在庫係数が高いのは、東風日産、東風ホンダ、一汽紅旗

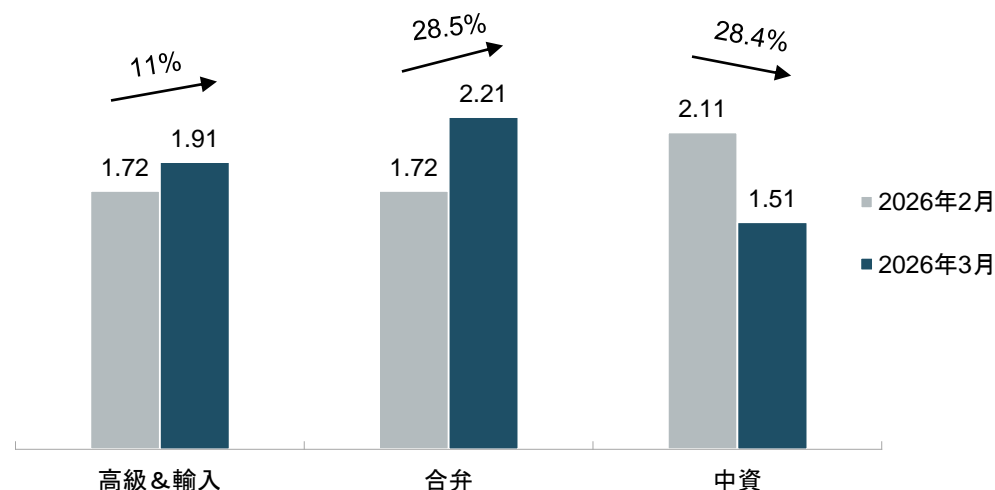
自動車ディーラー在庫係数(2025-2026年)



説明: 中国汽流通協会は2010年7月より定期的に自動車ディーラーに対し在庫調査を行い、各メーカーの在庫状況及び業界の総合在庫係数を算出している(在庫係数=期末在庫数/当期販売台数)。在庫係数> 1.5が警戒ライン

出所: 中国汽流通協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

ブランド別在庫係数(2026.2~2026.3)



3 新発売のモデル(3月9日-4月9日)

【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

No.	発売日	モデル名	販売価格 (万元)	タイプ	排気量	航続距離 (CLTC BEV)	メーカー	セールスポイント
1	3.13	iCAR V27	16.98-19.68	SUV	-	200-210km	奇瑞汽車	• キューブ型デザイン、Qualcomm 8295+15.4"中央制御パネル、奇瑞1.5T"中国心"レンジエクステンダーエンジン、四輪駆動、マップレスの全シーン対応
2	3.17	ENCASA BEV	48.99	MPV	-	601km	上汽GM	• 900V高圧アーキテクチャ、6C急速充電技術、8スクリーン連動コックピット+AI大規模言語モデル、Momenta スマート運転システム、50"AR-HUD、Qualcomm 8775
3	3.26	零跑A10	6.58-8.68	SUV	-	403-505km	零跑汽車	• 1.55㎡パノラマルーフ、CTCシャーシ、LiDAR、Qualcomm 8650、Qualcomm 8295、14.6"中央制御パネル
4	3.26	宋Ultra EV	15.19-17.99	SUV	-	605-710km	BYD	• 急速充電技術、「天神之眼5.0」運転支援、雲輦-Cスマートダンピングボディコントロールシステム、15.6"中央制御パネル、270kW 駆動モーター
5	3.29	鉅智7	16.98-22.98	セダン	-	600-710km	广汽トヨタ	• 15.6"中央制御パネル、Harmony コックピット5、Momenta R6 運転支援、デュアルチャンバーエアサスペンション、Huawei DriveONE N in 1 電気モーター、27"HUD
6	3.29	蓮花FOR ME	50.80-55.80	SUV	2.0T	420km	吉利汽車	• 6Dダイナミックシャシーシステム、Brembo ブレーキシステム、デュアルチャンバーエアサスペンション、2.0Tターボチャージャーエンジン+前後デュアルモーター、900V高圧プラットフォーム
7	3.30	領匯e5	9.58-12.98	セダン	-	530km	BYD	• 10.1"中央制御パネル、4G車載システム、高德地図ナビゲーション、OTA
8	3.30	奇瑞QQ3	5.89-7.89	セダン	-	310-420km	奇瑞汽車	• カスタムメイド、70L電動フロントトランク、四輪独立サスペンション、15.6"中央制御パネル、Qualcomm 8155、「獵鷹500」スマート運転システム
9	3.31	博越REV	11.39-12.69	SUV	1.5L	220-375km	吉利汽車	• スーパープラチナレンジエクステンダーシステム、神盾金砖電池、3C急速充電+6kW外部放電、14.6"中央制御パネル、FlymeAuto スマートコックピット、L2スマート運転
10	4.8	日産NX8	15.99-20.99 15.99-17.99	SUV	- 1.5T	580-650km 150-310km	東風日産	• 天演アーキテクチャ2.0、雲盾電池2.0、Qualcomm 8295、800V高圧プラットフォーム+5C急速充電、Momentaスマート運転、移動ソファシート
11	4.8	瑞虎7L	8.59-10.69	SUV	1.5T	-	奇瑞汽車	• 15.6"中央制御パネル、Qualcomm 8155、256色ムードライト、L2/L2.5級「獵鷹」スマート運転システム、「鯤鵬動力」1.6T発動機

出所: 新浪汽車よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

4 業界動向(3月9日-4月9日)

【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

No.	企業	動向
1	NIO	<ul style="list-style-type: none"> 3月10日、NIO(09866.HK)は2025年第4四半期の財務報告書を発表。第4四半期の純利益は2.8億元、経営利益は12.5億元と初の四半期黒字に 3月17日、NIOは自動車アフターサービス大手「途虎養車」と戦略提携協議を締結、両者のリソースの統合を通じて、双方の顧客により多くのサービスを提供する
2	零跑汽車	<ul style="list-style-type: none"> 3月16日、零跑汽車(09863.HK)は公告を発表、2025年の売上高は647.3億元、純利益5.4億元、通年で初めて黒字を達成 3月20日、零跑汽車の欧州イノベーションセンターが正式開業、海外で設立する初めてのイノベーションセンターである
3	啓境汽車	<ul style="list-style-type: none"> 3月17日、広汽集団と華為乾崑が共同開発した「啓境」が正式にブランド発表会を開催
4	NVIDIA	<ul style="list-style-type: none"> 3月17日、NVIDIAはBYD、吉利、日産、いすゞと手を組み、NVIDIA DRIVE HyperionをベースにL4自動運転車を共同開発する
5	嵐図汽車	<ul style="list-style-type: none"> 3月18日、嵐図汽車(07489.HK)は香港証券取引所メインボードに上場、「中央企業ハイエンド新エネ車」領域において初めての上市企業となった
6	小鵬汽車	<ul style="list-style-type: none"> 3月23日、小鵬汽車はRobotaxi事業部を設置、Robotaxiの製品定義、プロジェクトの統合、研究開発テスト、試験運用を統括する 3月25日、小鵬汽車は「中南米スマートモビリティ3か年計画」を発表、2028年にはラテンアメリカ市場のフルカバーを実現する目標を掲げた。また工事にメキシコ市場への参入を発表。 3月27日、小鵬汽車は4月1日より企業名を「小鵬汽車有限公司」から「小鵬集団」に変更。英文名称である「XPeng Inc」は変更無し
7	文遠知行	<ul style="list-style-type: none"> 3月23日、文遠知行の自動運転製品は12カ国40都市以上で展開、Robotaxiのフリート規模は1,125台に達した。同社の計画では、2026年末までにグローバルでRobotaxi2,600台を展開、2030年には数万台規模に拡大する
8	斯柯達	<ul style="list-style-type: none"> 3月26日、VW中国によるとSKODAの中国での販売は2026年までとし、今後はインドやASEANなど高成長市場に注力する
9	長安汽車	<ul style="list-style-type: none"> 3月26日、長安汽車はブラジルCAOAと共同設立したブラジル工場が稼働 3月31日、長安汽車は重慶において自社開発のL4 Robotaxiテストライセンスを取得したことを発表
10	金杯汽車	<ul style="list-style-type: none"> 4月4日、金智変量機器人科技(瀋陽)有限公司が設立。金杯汽車(600609.SH)と自変量機器人科技(深圳)有限公司の共同出資

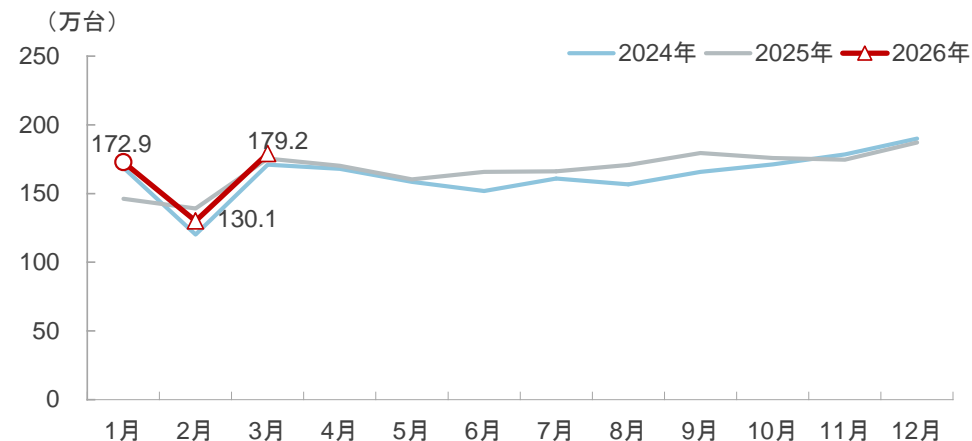
出所: 新浪汽車よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

5 中古車

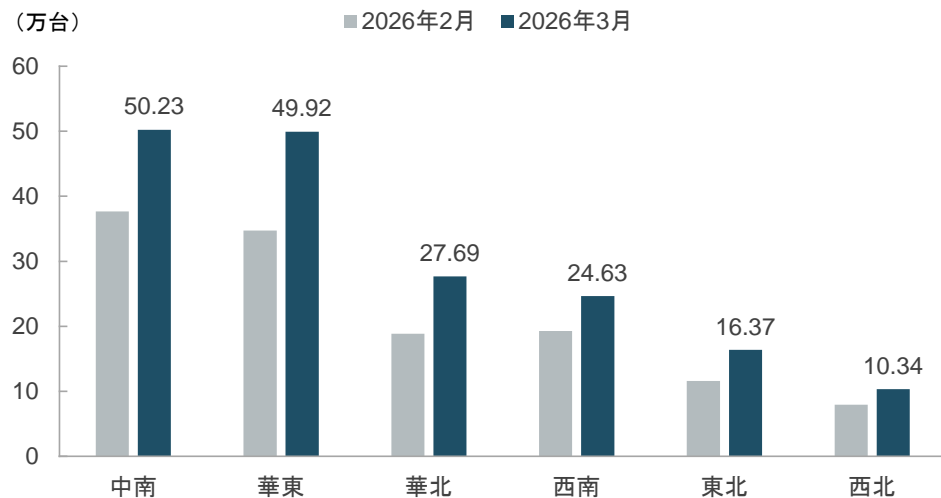
【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

- **中古車取引台数**: 2026年3月、中古車取引台数は前年同月比2.11%増、前月比37.73%増の179.18万台、取引額は1,178.68億元。2026年1-3月の累計取引台数は前年同期比4.66%増の482.2万台
- **六大エリアの取引状況**: 3月、六大エリアの取引台数は全て前月比大幅増となった。うち中南エリアの取引台数は前月比33.32%増、華東エリアは同43.76%増、華北エリアは46.73%増、等。
- **省間流通状況**: 3月、中古車の転籍率は前年同月比2.57pt上昇、前月比1.41pt上昇の32.08%。転籍総数は前月比44.04%増の57.49万台

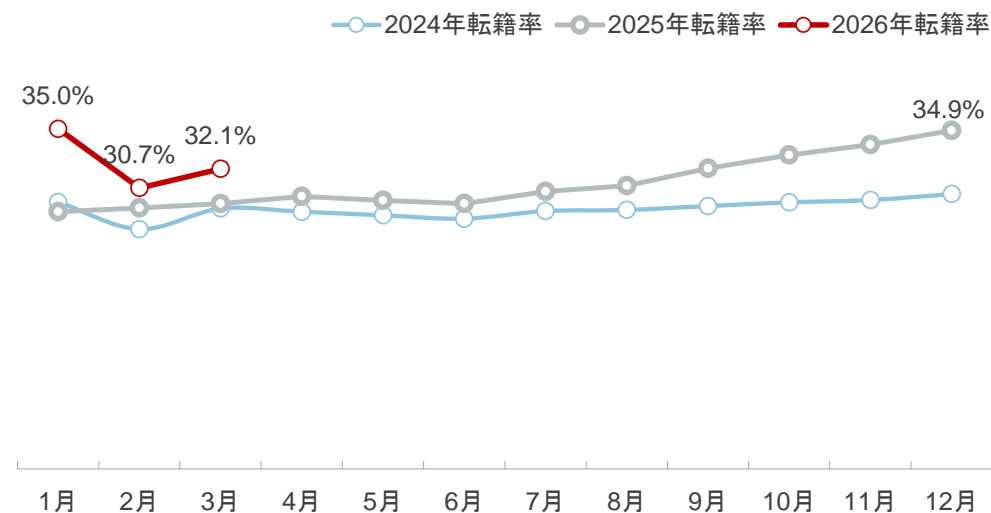
中古車月次取引台数



エリア別取引状況



省間流通状況



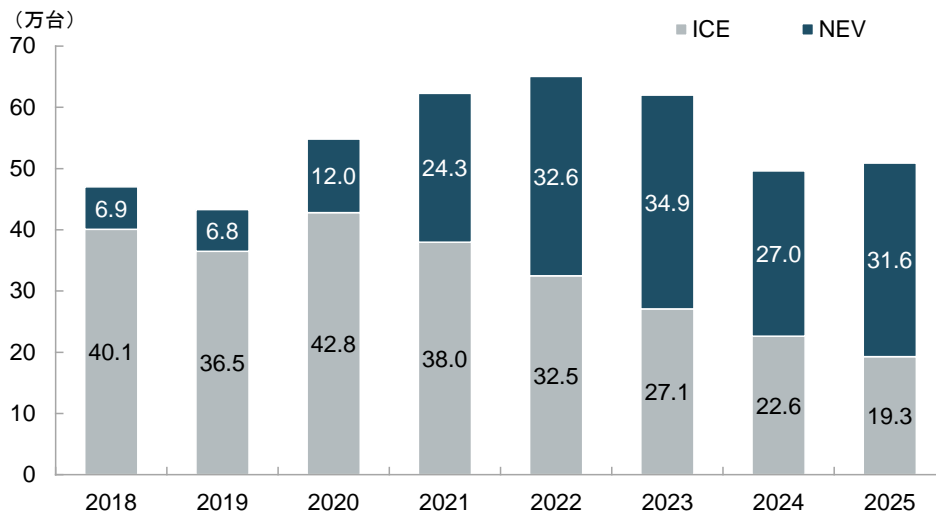
出所: 中国汽連流通協会よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

6 上海NEV市場

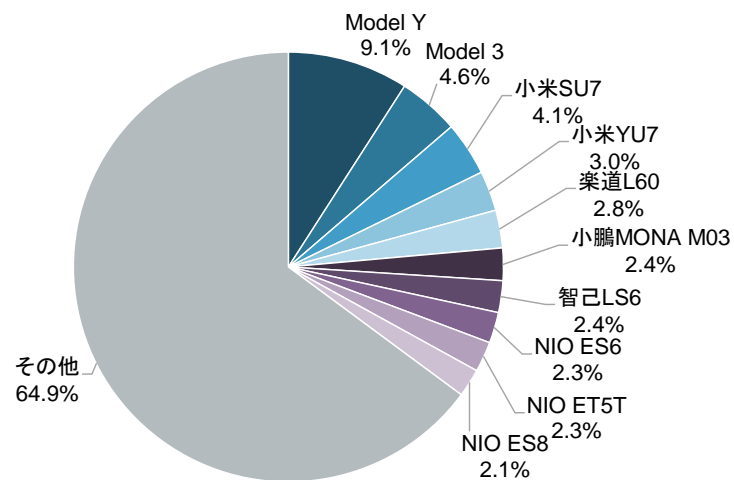
【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

- **ナンバープレート**: 2025年、上海市NEVナンバープレート取得台数は前年比17.3%増の31.6万台、上海市新車ナンバープレート取得総数の62.1%に達した。2025年12月時点、上海市の累計NEV台数は200万台、中国第1位を維持している。インフラ面では、公共充電設備は25.3万台、電池交換ステーションは265カ所に達している
- **BEV乗用車販売台数Top10**: 2025年、上海市BEV乗用車販売台数ではTesla Model Yが引き続きトップ、次いでTesla Model 3、小米SU7及びYU7、NIO、小鹏、智己等が並ぶ。Teslaは2モデルの販売台数が計4.33万台、総販売台数の13.7%と圧倒的なシェアを持つ。BEV総販売台数CR10は35.1%

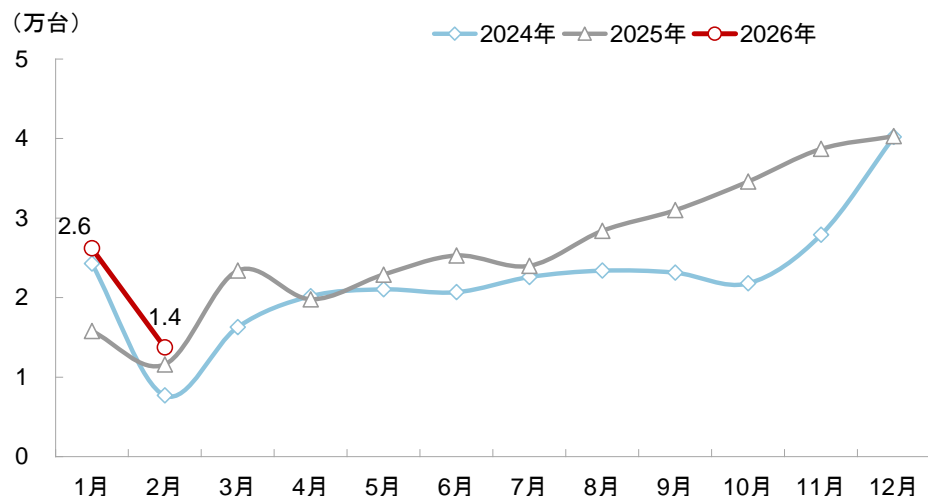
上海市新車ナンバープレート取得台数(2018-2025年)



上海市BEV乗用車販売台数Top10モデル(2025年)



上海市NEVナンバープレート取得台数



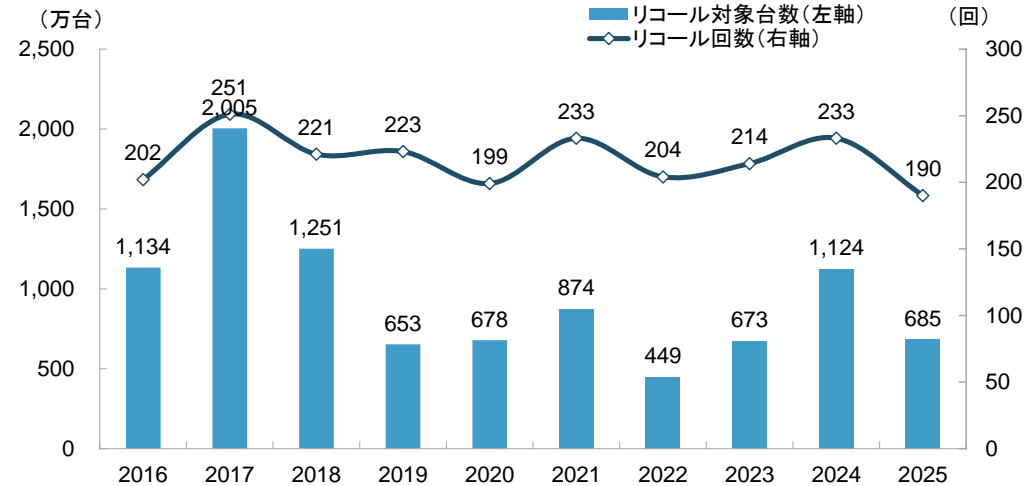
出所: 上海市経済信息中心、易車網よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

7 リコール

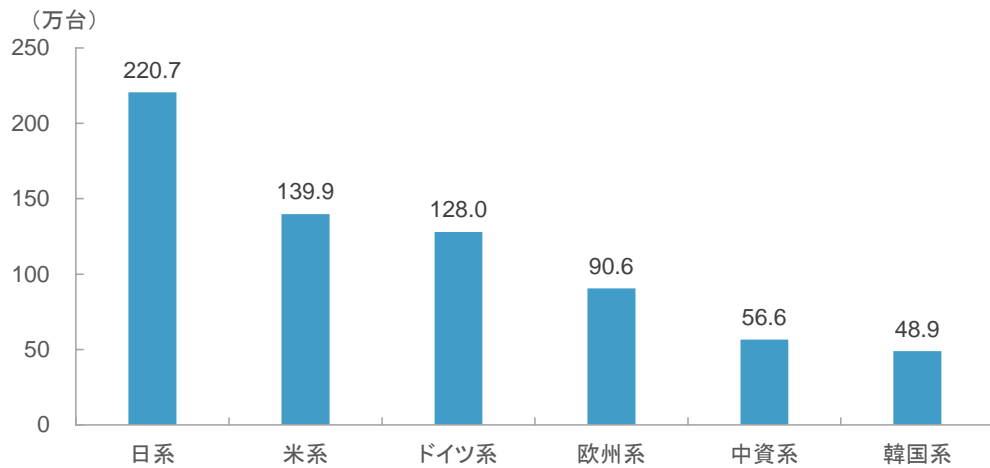
【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

- **リコール**: 2025年、中国国内自動車リコール数は前年比18.5%減の190回、対象車両数は同39.1%減の684.6万台で、54社300モデル超に及んだ。うちNEVのリコール回数は105回、対象車両数は265.2万台とリコール総数の38.7%
- **ブランド別**: 2025年、リコール回数が最も多かったのはドイツ系で32回、対象車両数は128万台。日系は対象車両数が最も多く220.7万台となった
- **リコール要素**: 不具合が発生した場所では、ステアリングシステム、発動機、計器類、照明及び付属装置によるものがリコール総数の71.3%。動力電池の熱暴走によるものは3.2%

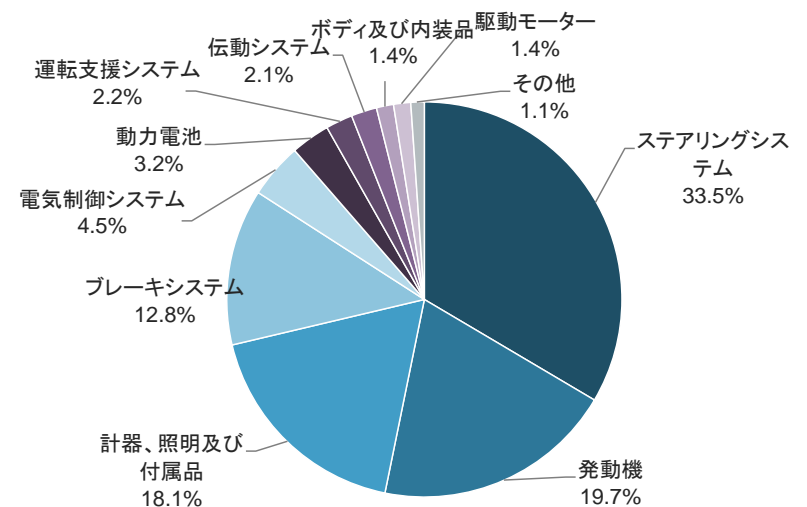
中国自動車リコール状況(2016-2025年)



ブランド別リコール対象車両数(2025年)



不具合が発生した場所及びリコール回数(2025年)



出所: 市場監督管理総局よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

8 水素エネルギーの総合利用への財政支援

【中国自動車業界レポート(2026年3月)】

- 2026年3月16日、財政部、工業信息化部、発展改革委員会等は連名で『水素エネルギー総合利用のモデル事業の展開に関する通達』を発表。1都市群あたりのモデル事業期間を4年とし、水素利用のコスト、FCV保有台数、多様な利用シーンの3つの側面に焦点を当てる
- 中央財政から「補助金に代わる奨励金」の方法でモデル都市を支援、奨励金は1都市群あたり16億元を超えないものとする

項目	具体内容	FCV			
申請条件	都市群は以下の条件を満たすこと 1. FCV実証実験の経験を有すること 2. 1,500台以上のFCVを普及させていること 3. 10ヵ所以上の水素ステーションを稼働していること(≧500kg/日)	乗用車	≦ 1.5kg/100km		
		10m(含)以下のバス	≦ 5kg/100km		
		10m以上バス	≦ 7kg/100km		
目標	1. FCV規模を8,000台以上 2. 新設稼働の水素ステーションを累計30ヵ所以上 3. 水素ハイウェイあるいは水素回廊を少なくとも1本設置していること 4. 末端の水素価格が25元/kgを上回らないこと(優位性があるエリアは15元/kg) 5. 70MPaの水素ステーションの建設運営を奨励 6. FCV1台あたりの走行距離を3万kg超とする	4.5トン(含)以下の貨物車両	≦ 3kg/100km		
		4.5-12(含)トン貨物車両	≦ 5kg/100km		
		12-25(含)トン貨物車両	≦ 7kg/100km		
		25-31(含)トン貨物車両	≦ 9kg/100km		
		31トン以上貨物車両	≦ 10kg/100km		
		品質保証	乗用車	8年 or 12万km	
			商用車	5年 or 20万km	
		燃料電池システム		純水素での航続距離 (km)	≧350
		定格出力	乗用車:システム定格出力 ≧ 30kW 商用車:システム定格出力 ≧ 50kW。かつ駆動モーターの定格出力比≧50%	奨励ポイント	1年目 1pt/台(標準車、以下同)、2年目 0.85pt/台、3年目 0.7pt/台、4年目 0.6pt/台
		起動温度	全ての車種 起動温度 ≦ -30°C	ポイント上限	1企業が1都市群で得られるポイントは最大4,000pt
出力密度	全ての車種:スタック≧3.5kW/L、システム≧400W/kg	注: 1. 原則的に1pt=奨励金8万元 2. 純水素での航続距離が600km超のコールドチェーン輸送或いは最大設計質量31トン以上の貨物車両は2.1倍で計算 3. 燃料電池システムの定格出力(p、単位はkW)標準車換算で、換算係数(Y)は ① 乗用車: Y=(p-30)X0.005+1; p>60時間、Y=1.15 ② 4.5トン(含)以下の貨物車両、4.5-12(含)トン貨物車両、10m(含)以下のバス: Y=(p-50)X0.005+1; p>80時間、Y=1.15 ③ 10m以上バス: Y=(p-50)X0.012+1; p>110時間、Y=1.72 ④ 12-31(含)トン貨物車両: Y=(p-50)X0.013+1; p>180時間、Y=2.7 ⑤ 31トン以上貨物車両: Y=(p-50)X0.013+1; p>280時間、Y=4。			
水素補助金					
水素補助金	自動車用水素について実際の充填量に基づきポイント付与 1. 1年目 2.5pt/百トン、2年目 2pt/百トン、3年目 1.5pt/百トン、4年目 1pt/百トン 2. 再生可能エネルギー製造の水素については追加で2pt/百トン 3. 水素ハイウェイの水素ステーションに対し追加で1pt/百トン				

出所:工業信息化部よりみずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

Copyright © 2026 Mizuho Bank (China) , Ltd.

1. 本資料は法律上・会計上・税務上の助言を目的とするものではありません。本資料中に記載された諸条件及び分析は仮定に基づいており、情報及び分析結果の確実性或いは完全性を表明するものではありません。また、当行との取引においてご開示頂く情報、鑑定評価、各種機関の見解、また政策法規・金融環境等の変化によっては、本資料に記載の仮定やスキームと乖離が生じ、提示した効果が得られない可能性があります。本資料については、そのリスクを充分ご理解の上、貴社ご自身の判断によりご利用下さい。当行は本資料に起因して発生したいかなる損害について、その内容如何にかかわらず、一切責任を負いません。
2. 本資料中に記載された企業情報は、公開情報及び第三社機関から取得した情報に基づいて作成しており、当行が顧客との取引において知りうる機密事項や非公開情報等は一切含まれておりません。
3. 本資料中に記載された情報は、当行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。また、引用された出所元の資料及び文言に含まれる、または解釈される可能性のある意見や論評は、記載された出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。
4. 本資料の著作権は原則として当行に帰属します。本資料については貴社内部の利用に限定され、いかなる目的であれ、いかなる方法においても、無断で本資料の一部または全てを、第三社へ開示、または複写・複製・引用・転載・翻訳・貸与する等の行為について固く禁じます。